

健康リスク初期評価結果一覧 (14物質)

参考資料 1

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)				曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1, 3)	リスクの判定 ^(注4)	総合的な判定 ^(注4, 6)	過去の公表 ^(注6)					
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度									
1	エチレンジアミン [151-56-4]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注11)	—				
						淡水	< 0.00016 μg/kg/day	MOE	—	×						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	一般環境大気	< 0.0027 μg/m ³	MOE	—	×			(○) ^(注10,11)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
2	o-クロロフェノール [95-57-8]	経口	無毒性量等 ^(注7) 5 mg/kg/day	ラット	同腹仔数の減少、死産率の増加	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—				
						淡水	0.0028 μg/kg/day	MOE	180,000	○						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×			(○) ^(注10,12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
3	1,2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン [3209-22-1]	経口	無毒性量等 ^(注7) 0.5 mg/kg/day	ラット	肝臓、腎臓の重量増加、肝細胞腫大、尿管の硝子滴など	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—				
						淡水	< 0.00048 μg/kg/day	MOE	> 100,000	○						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×			(○) ^(注12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
4	1,2-ジプロモエタン [78-83-1]	経口	無毒性量等 ^(注7) 2.7 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、肝臓、副腎皮質、精巣への影響	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—				
						スロ-フ-アク-	3.6 (mg/kg/day) ⁻¹	ラット+マウス	前胃扁平上皮癌	淡水			< 0.00015 μg/kg/day	MOE	> 180,000	○
						過剰発生率	—	—	—	過剰発生率			< 5.4E-07	MOE	590	○
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.41 mg/m ³	ラット	鼻腔組織への影響、肝臓相対重量の増加	一般環境大気	0.0069 μg/m ³	MOE	590	○			▲			
						過剰発生率	4.1E-06	MOE	—	×			×	×		
						過剰発生率	—	—	—	過剰発生率			—	—	×	
過剰発生率	0.0006 (μg/m ³) ⁻¹	ラット	鼻腔腫瘍、血管肉腫、中皮腫	室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×	×							
5	ジメチルアミン [124-40-3]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(▲) ^(注10)	—				
						淡水	7.6 μg/kg/day	MOE	—	×						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.33 mg/m ³	ラット マウス	鼻腔粘膜の変成	一般環境大気	0.034 μg/m ³	MOE	970	○			(▲) ^(注12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
6	テトラフルオロエチレン [116-14-3]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注8,12)	—				
						地下水	— μg/kg/day	MOE	—	×						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 12 mg/m ³	ラット	尿管の変性、肝細胞の変性など	一般環境大気	2 μg/m ³	MOE	120	○			(▲) ^(注12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
7	トリメチルアミン [75-50-3]	経口	無毒性量等 ^(注7) 4 mg/kg/day	ラット	前胃組織の変性	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—				
						淡水	0.68 μg/kg/day	MOE	590	○						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.31 mg/m ³	ラット	鼻腔粘膜の変性	一般環境大気	0.011 μg/m ³	MOE	2,800	○			○			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
8	p-ニトロフェノール [100-02-7]	経口	無毒性量等 ^(注7) 2.5 mg/kg/day	ラット	生存率の低下	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注12)	—				
						地下水	— μg/kg/day	MOE	—	×						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.089 mg/m ³	ラット	白内障	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×			(○) ^(注12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
9	o-フェニレンジアミン [95-54-5]	経口	無毒性量等 ^(注7) 4 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、尾部刺激に対する反応亢進	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—				
						淡水	< 0.0006 μg/kg/day	MOE	> 670,000	○						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×			(○) ^(注10,12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			
10	1-プロモプロパン [106-94-5]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注10,12)	—				
						淡水	0.00011 μg/kg/day	MOE	—	×						
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.13 mg/m ³	ヒト	振動感覚閾値の上昇、赤血球数の減少	一般環境大気	0.17 μg/m ³	MOE	760	○			(▲) ^(注12)			
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×			×			

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)			曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1, 3)		リスクの判定 ^(注4)	総合的な判定 ^(注4, 5)	過去の公表 ^(注6)		
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度	MOE				過剰発生率	
11	ベンジリジジニトリクロリド [98-07-7]	経口	無毒性量等 ^(注7) 0.00048 mg/kg/day	ラット	肝臓・腎臓・甲状腺組織の病変	飲料水	— μg/kg/day	MOE —	×	(○) ^(注8)	—		
			スロ-プ-ファクター 13 (mg/kg/day) ⁻¹	マウス	肺腺癌	地下水	— μg/kg/day	MOE —	×				
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.091 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制、鼻・気管支・肺の炎症、変性など	一般環境大気	< 0.004 μg/m ³	MOE > 230	○			×	○
			ユニットリスク — (μg/m ³) ⁻¹	—	—	室内空気	— μg/m ³	MOE —	×			×	×
12	ベンズアルデヒド [100-52-7]	経口	無毒性量等 ^(注7) 143 mg/kg/day	ラット マウス	生存率の低下、膵臓の過形成 前胃の過形成	飲料水	— μg/kg/day	MOE —	×	(○) ^(注12)	—		
			無毒性量等 ^(注7) 5.4 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制、低体温、肝臓重量の増加など	地下水	— μg/kg/day	MOE —	×				
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 5.4 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制、低体温、肝臓重量の増加など	一般環境大気	0.44 μg/m ³	MOE 1,200	○			○	
			—	—	—	室内空気	117 μg/m ³	MOE 5	■			■	
13	メタクリル酸 [79-41-4]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE —	×	(○) ^(注10, 11)	—		
			—	—	—	淡水	0.004 μg/kg/day	MOE —	×				
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.13 mg/m ³	ラット	鼻甲介前部の炎症性変化	一般環境大気	0.0028 μg/m ³	MOE 4,600	○			(▲) ^(注12)	
			—	—	—	室内空気	— μg/m ³	MOE —	×			×	
14	N-メチルアニリン [100-61-8]	経口	無毒性量等 ^(注7) 0.05 mg/kg/day	ラット	ヘモグロビン濃度の減少、脾臓のうっ血	飲料水	— μg/kg/day	MOE —	×	○	—		
			—	—	—	淡水	< 0.00048 μg/kg/day	MOE > 10,000	○				
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.05 mg/kg/day	ラット	ヘモグロビン濃度の減少、脾臓のうっ血	一般環境大気	— μg/m ³	MOE —	×			(○) ^(注10, 12)	
			—	—	—	室内空気	— μg/m ³	MOE —	×			×	

(注1) —: リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大曝露量・濃度が設定できなかった場合、MOE・過剰発生率(がん)の算出ができなかった場合。

(注2) リスク評価の指標: 本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。

(注3) MOE: 無毒性量等を予測最大曝露量、あるいは予測最大曝露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。

(注4) ○: 現時点では作業は必要ない、▲: 情報収集に努める必要がある、■: 詳細な評価を行う候補、×: 現時点ではリスクの判定はできない。

(注5) リスク評価の指標が設定できない場合や曝露情報が把握されていないためにMOE・過剰発生率(がん)の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。

(○): 情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、(▲): 情報収集等を行う必要性があると考えられる、(■): 詳細評価を行う候補と考えられる。

(注6) 再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。

(注7) 無毒性量等: 長期間の連続曝露に補正したNOAEL又はNOAEL相当(LOAELを10で除した場合等)の値。

(注8) 予測最大曝露量が得られなかった物質: 過去の曝露量、限られた地域の曝露量、生産量の推移及びPRTRデータなどを考慮した。

(注9) 予測最大曝露濃度が得られなかった物質: 限られた地域の曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、大気中での半減期、生産量及び物性などを考慮した。

(注10) 経口曝露又は吸入曝露の無毒性量等、スロ-プ-ファクター、ユニットリスクが設定できなかった物質: 曝露経路間の換算により算出した値を考慮した。

(注11) 経口曝露又は吸入曝露の無毒性量等、スロ-プ-ファクター、ユニットリスクが設定できなかった物質: 無毒性量等、スロ-プ-ファクター、ユニットリスクを仮定して試算した値を考慮した。

(注12) 過去のデータ、限られた地域のデータ、PRTRデータを用いた濃度予測結果を考慮した。